

平成 29 年 8 月 31 日

保護者様

横浜市立岸谷小学校
校長 大島 宏二

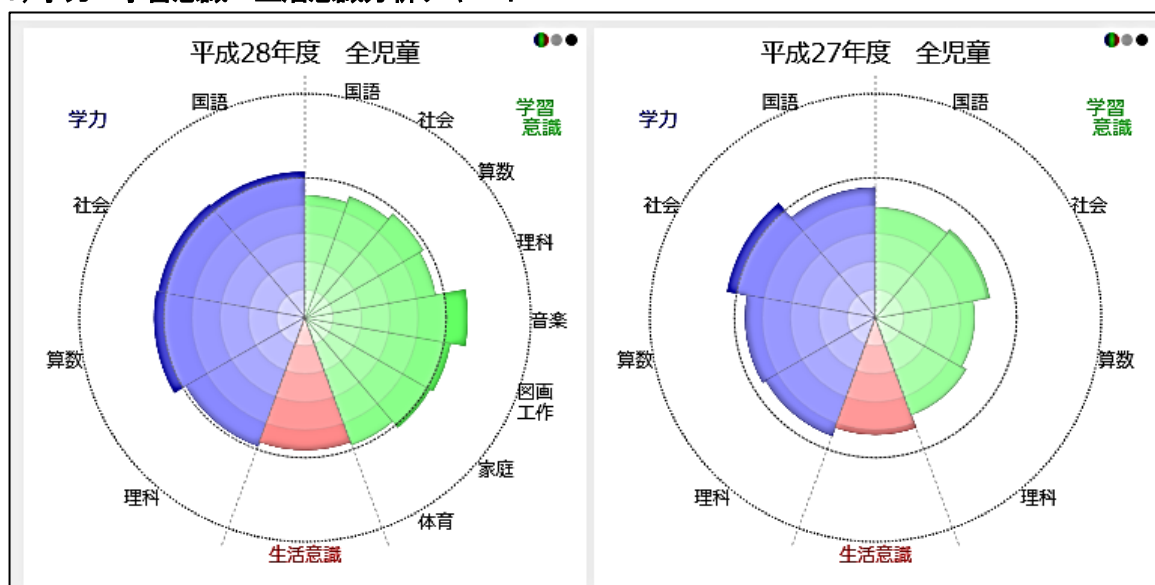
本校における横浜市学力・学習状況調査の結果分析及び課題、改善の手立て
～平成 28 年度横浜市学力・学習状況調査結果より～

- 成果 学力、学習意識、学習意欲等の向上
■課題 主体的な学び、対話的な学びから深い学びへ

横浜市学力・学習状況調査は児童の学習状況について分析的、統合的に把握することで、教科指導や学習評価の工夫改善、教育活動に生かすとともに、児童の学力向上のための学習改善に生かすことを目的に実施されています。昨年度（平成 29 年 2 月実施）の結果から本校の学習状況と今後の取組についてお知らせいたします。

1 調査結果

(1) 学力・学習意識・生活意識分析チャート

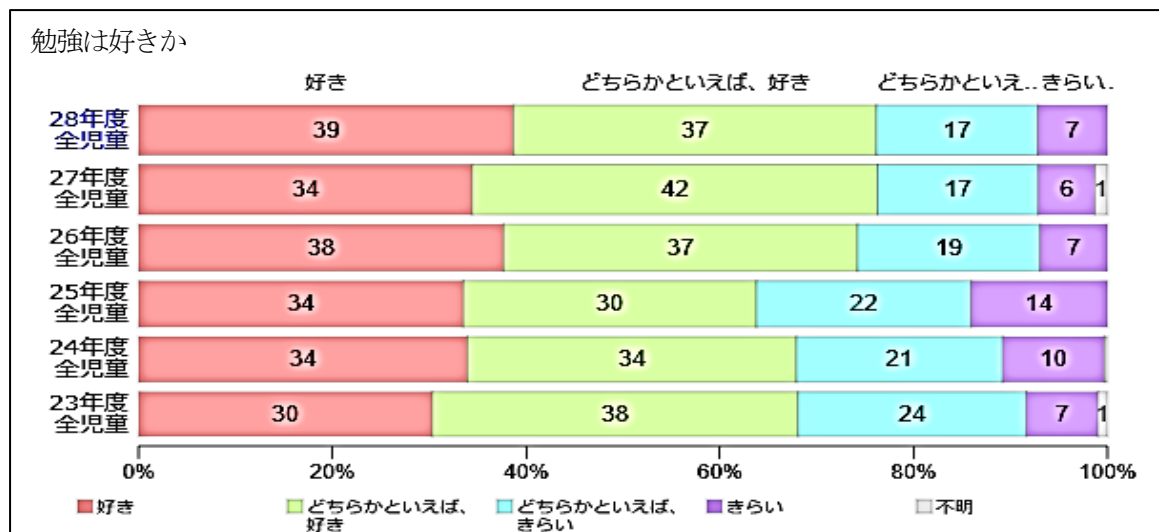


(2) 各教科平均正答率

	1年 (現2年)		2年 (現3年)		3年 (現4年)		4年 (現5年)		5年 (現6年)		6年 (現中1)	
	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用
国語	<u>71</u> 66	<u>48</u> 43	75 77	32 37	<u>64</u> 57	<u>56</u> 52	<u>59</u> 57	53 58	<u>65</u> 63	<u>53</u> 52	58 63	51 55
算数	<u>83</u> 77	<u>60</u> 38	68 72	48 51	<u>81</u> 75	<u>45</u> 44	<u>66</u> 62	<u>43</u> 42	64 66	<u>50</u> 49	64 71	48 54
社会					<u>87</u> 81	<u>71</u> 64	73 73	<u>69</u> 68	<u>84</u> 80	<u>71</u> 70	69 75	68 73
理科									<u>68</u> 65	56 60	<u>70</u> 66	<u>55</u> 53

(※上段：本校平均正答率 下段：横浜市平均正答率 網掛け下線付きは市平均を上回る)

(3) 学習意欲について



2 調査結果の分析

(1) 本校の傾向

学力・学習意識・生活意識分析チャートから、前年度までの調査結果と比較し、全校として学力、学習意識、生活意識が向上傾向にあることが分かります。各学年各教科の基礎問題・活用問題の平均正答率についても、横浜市平均正答率より上回る学年、教科が昨年度と比較して増加していることや、市平均を下回っていても昨年度比で多くは向上していることから、学力が向上していることが分かります。これまでの取組の成果と考えます。

(2) 各教科の状況

ア 国語

学年	よい状況と考えられる点	改善が必要とされる点
1年 (現2年)	<ul style="list-style-type: none"> 語と語の続き方に注意しながら、つながりのある文章を書くことができる。 登場人物の行動や会話を中心に、想像を広げながら読むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 主語・述語との関係に注意することができる。 興味をもって聞き、詳しく知りたいことを質問することができる。
2年 (現3年)	<ul style="list-style-type: none"> 文章の内容と自分の経験を結び付けて考えることができる。 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章の中の大事な言葉や文を書き抜くことができる。 語と語の続き方に注意しながら、より詳しい文を書くことができる。
3年 (現4年)	<ul style="list-style-type: none"> 目的や必要に応じて文章を読み、要約することができる。 物語を読み、心に残った表現や書き方の巧みさについて意見を述べ合うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 辞書を利用して語句を調べる方法が分かる。 場面の移り変わりとともに変化する気持ちについて、会話などから関連的にとらえることができる。
4年 (現5年)	<ul style="list-style-type: none"> 目的や必要に応じて文章を読み、要約することができる。 漢字辞典を利用して語句を調べる方法が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> 本や文章から見付けた疑問を解決するために、必要な記事を選ぶことができる。 登場人物の会話や行動描写から、その人物の気持ちを想像して読むことができる。
5年 (現6年)	<ul style="list-style-type: none"> 自分の課題を解決するために、適切な資料を選ぶことができる。 自分の意見を明確に伝えるために、必要な情報を入れて書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 話合いの仕方のよさをとらえて、意見を交流することができる。 文章の中で語句と語句の関係を理解することができる。
6年 (現中1)	<ul style="list-style-type: none"> 事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすることができる。 言葉のもつ意味を考えて正しく使うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 書き手の意図を踏まえながら文章を読み合っており、表現の仕方や内容に着目して助言し合うことができる。 互いの立場や意図をはっきりさせて、話し合うことができる。

イ 算数

学年	よい状況と考えられる点	改善が必要とされる点
1年 (現2年)	<ul style="list-style-type: none"> 立体の形状に着目して、身の回りにあるものの形の機能的特徴を説明することができる。 十進位取り記数法の原理を理解し、2位数の表し方を考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 減法の式に合致する場面が分かる。 立体を写し取ってかかれた絵を見て、その立体を構成する面の形が分かる。
2年 (現3年)	<ul style="list-style-type: none"> 長さや水のかさ等の量について、普遍単位を用いて表すことのよさを考えることができる。 一つの数を十や百を単位としてみるなど、数の相対的な大きさが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常事象の見方を工夫し、乗法を用いて全体の数を効率よく求める方法を考えることができる。 与えられた条件の直角三角形を作図することができる。
3年 (現4年)	<ul style="list-style-type: none"> 時間の単位の関係をとらえて、条件に合わせて時刻や時間を考えることができる。 乗数が1減少したとき、被乗数の分だけ積が小さくなるきまりを用いて、計算の仕方を考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> (3位数) × (1位数) の計算ができる。 除法の式から分かる商と余りについて、具体的な場面を想定し、どのように処理するかを考えることができる。
4年 (現5年)	<ul style="list-style-type: none"> 資料を観点ごとに整理した表から、2つの表を選択し、関連付けることで調べた資料の傾向を考えることができる。 星の動きを回転角としてとらえ、角度と時間を関連付けて考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 除法について成り立つ性質を活用した際の余りについて、正確な処理の方法やその理由を考えることができる。 図形の構成要素及び、それらの位置関係に着目して、分類整理の仕方を理解している。
5年 (現6年)	<ul style="list-style-type: none"> 伴って変わる2つの数量の関係を図や表から読み取り、その関係を表す式を考えることができる。 場面に合った除法の式を立て、その商を表した分数が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> (小数) × (小数) の計算ができる。 百分率の意味が分かり、数直線や式での数量関係の表し方が分かる。
6年 (現中1)	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の中から、比が用いられる事象を探したり、それを活用して物事を処理したりすることができる。 基準量と割合の変化から、比較量の変化を判断することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> もとの図の2倍の拡大図をかくことができる。 分数のわり算の計算の仕方について、数直線を根拠に式と関連付けて説明することができる。

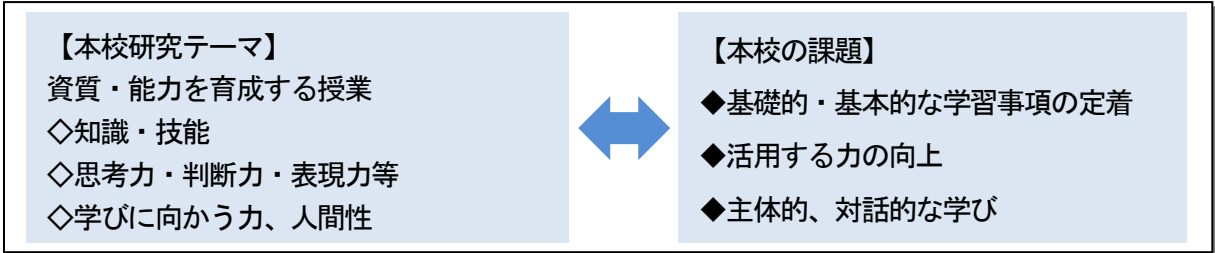
ウ 社会

学年	よい状況と考えられる点	改善が必要とされる点
3年 (現4年)	<ul style="list-style-type: none"> 地図から、土地の高低や土地利用の様子を読み取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 買い物をするときの、消費者の工夫について理解している。
4年 (現5年)	<ul style="list-style-type: none"> 自治体・町内会など地域の人が、自分たちで地域を守る取組を行っていることを考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> まちを守る消防団の役割を理解している。
5年 (現6年)	<ul style="list-style-type: none"> 情報を提供する放送局や新聞社の様子を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> キャベツ生産にかかわる様々な情報を適切に読み取ることができる。
6年 (現中1)	<ul style="list-style-type: none"> 資料をもとに、聖武天皇の力が全国に及んでいることや大仏づくりが国家的な一大事業であることを考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自由民権運動と、政府の憲法制定・国会開設に向けての政策との関係を考えることができる。

エ 理科

学年	よい状況と考えられる点	改善が必要とされる点
3年 (現4年)	<ul style="list-style-type: none"> 実験結果からどんなことが言えるのかを考察し、言葉で表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 実験結果から分かる光の性質を利用して、水を温める仕組みを考えることができる。
4年 (現5年)	<ul style="list-style-type: none"> 水の状態変化と気温を関係付けて考え、日常生活にあてはめて考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の予想をもとにして、実験結果までの見通しをもつことができる。
5年 (現6年)	<ul style="list-style-type: none"> 比較する内容を確認して、条件を整理して実験を計画することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 振り子の運動の規則性を調べ、その過程や結果を定量的に記録することができる。
6年 (現中1)	<ul style="list-style-type: none"> 問題を的確に把握し、実験計画を立てることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 支点からの距離とおもりの重さの関係を表などに整理することができる。

3 今後の取組



(1) 授業改善・授業力向上の取組

今後求められる資質・能力を育成する授業を目指し、指導の在り方、授業の在り方について教師一人ひとりが授業実践をする中で、自己の課題を分析し、課題を解決していくことで、授業改善を図っていきます。

ア 基礎的・基本的な学習事項の定着を図る取組

- ・朝のスキル読書タイムによる学習、読書の習慣化
- ・学習の履歴が残るノート指導
- ・音読、漢字、計算等の反復的練習の継続

イ 主体的、対話的な学びの向上を図る取組

- ・日常の場面と関連付けながら、一人ひとりの気づきや疑問から課題を引き出し、これまでの学習を活かして主体的に課題解決していく学習
- ・具体的な操作、図や表、式、言葉を用いて表現し合う中で、対話的に考えを深められる学習

基礎的・基本的な学習事項の定着に向けて



主体的、対話的な学びに向けて



教室座席をコの字にレイアウトすることで話し合いが活発に



グループで問題解決する活動

(2) 家庭との連携

ア 家庭学習の習慣化

- ・国語、算数を基本とした家庭学習

学年に応じて宿題の量は異なりますが、短時間でも机に向かう習慣や、学年相応の学習の習慣が身に付けられるよう支援を行います。

イ 学習への取組についての共有

懇談会や個人面談、学級通信等で家庭での学習についても話題にし、学校と家庭における学習への取り組みの様子を共有していきます。

学力向上をめざしていく上で、規則正しい健康な生活習慣は欠かせません。ご家庭におかれましては、次の点についてお子様とお話いただきながら、よりよい生活習慣が身に付けられるようご協力いただきたく思います。

- 朝食を毎日食べる。(1日元気に過ごすためのスタートは朝食にあります)
- 早寝、早起きをする。(規則正しい生活が規範を尊ぶ心情を育てます)
- 家族といろいろな会話をします。(楽しい会話で豊かな心を育みます)
- 宿題を毎日する。(学習の習慣化を図ります)